令和5年度（2023年度）モニタリングシート

施設名	長沼 学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか 【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B 児童数に合わせた職員配置を行っている	B		B 出席児童数に見合った職員配置である。	B		B	B		B 児童数に合わせて職員配置を行った。急な体調不良以外では配置不足はなかった。
		月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか		B	日報・月報は適正に作成されている。	B 日報は日々、月報は決められた日に作成している	B		B 適正に作成している。	B		B	B		B 日報、月報共に決められた日に作成をし、月末の締めなども確実に行っている。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B 口座を開設し、会計帳簿を記録している	B		B 適正に処理している。	B		B	B		B 口座開設を行い、会計帳簿は適切に記録した。
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	B 延長保育料は適正に徴収している	B		B 適正に行っている。	B		B	B		B 延長保育料の未納や提出遅れはほとんどなかった。
		収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか 【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B 適正に執行している	B		B 適正に行っている。	B		B	B		B 適切に執行した。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか 【研修件名・内容】	B	法人独自の研修、児童虐待研修、市内や法人内の実例を基にした研修を実施。	B 行われている。 「児童虐待研修」 八王子市内の実例 過去の法人内の実例 子どもの権利条約を学ぶ	B		A 2学期にも引き続き専門の講師に依頼し、子どもの権利条約をもとにした研修や、その他多岐にわたる研修を行っている。	B		B 行われている。 11/4コンプライアンス研修 12/20第2回コンプライアンス研修	B		B 年間を通して研修を実施した。 1/25普通救命講習
			保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか 【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B ヒヤリングは毎年行い、安定した職員配置を行っている。	A	夏季休業期間の朝からの保育に、配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。また、学童保育所の卒所児童の高校生ボランティアを活用し、より児童の安全と子ども達の遊ぶ機会の幅を広げている点を評価する。	B 同じ現場で長く働けるよう、ヒアリング等を実施して職員体制を安定させている。	B		B	B		B ヒヤリングを実施し、職員配置は変更もなく安定していた。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B 経営状況は健全である	B		B 健全である。	B		B	B		B 経営状況は健全
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で、非常通報装置、定期清掃が行われている。	B 協定で確認している第三者委託のみ	B		B 定期清掃等、必要なもののみ行っている。	B		B	B		B 協定で確認している第三社委託のみ
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B 受け取った日に処理をしている。急ぐものは学校交換便を利用している。	B		B 複数人で確認し、処理している。	B		B	B		B 適切に処理を行った。急ぐものは学校交換便を利用して提出するようにした。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B 開所日数、開所時間はしっかり守れている。	B		B 守られている。	B		B	B		B 開所時間、閉所時間共に守って運営を行った。
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理・保存がされている。	B 文書管理は適切に行っている。	B		B ファイル基準表を作成し、管理している。	B		B	B		B 文書管理はその都度決められたファイルに閉じて対応した。
			設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか 【事業報告書・実地調査】	B	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。	B 施設内の点検は毎日行っている。	B		B 適宜行っている。	B		B	B		B 施設点検を毎日行い、修繕箇所がないかなどの確認を行った。
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B 備品管理は適切に行っている。	B		B 備品台帳を作成し、管理している。	B		B	B		B 備品は適切に行った。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3．0以上である。	B 満足度調査では、保護者の方からの評価も3.0以上の評価をいただき、また行事の満足度も高かった。
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策を双方で協力して行っている。放課後子ども教室への参加については、学童保育所及び運営団体の受付担当者との綿密な連携により、児童が双方の活動に柔軟に参加できるよう配慮されており、両者の一体的な推進が図られている。	B 推進委員に参加し、情報共有を行っている。	A	児童が放課後子ども教室に参加できる柔軟な仕組みを構築し、指導員が放課後子ども教室への参加状況の確認を行い、児童の情報共有や安全対策を双方で協力して行い、放課後子ども教室へは毎日積極的に参加している。また、学童保育所卒所後も継続した児童の見守りによって、児童・指導員・保護者間の信頼関係の構築につながっていることを評価する。	B 学童と同法人が運営を行っているため、随時情報共有をしている。	A	児童が放課後子ども教室に参加できるよう柔軟な仕組みを構築し、指導員が放課後子ども教室への参加状況の確認をはじめ、児童の情報共有や安全対策を双方で協力して行い、放課後子ども教室へは毎日積極的に参加している。また、学童保育所卒所後も継続した児童の見守りによって、児童・指導員・保護者間の信頼関係の構築につながっていることを評価する。	B	A	児童が放課後子ども教室に参加できるよう柔軟な仕組みを構築し、指導員が放課後子ども教室への参加状況の確認をはじめ、児童の情報共有や安全対策を双方で協力して行い、放課後子ども教室へは毎日積極的に参加している。また、学童保育所卒所後も継続した児童の見守りによって、児童・指導員・保護者間の信頼関係の構築につながっていることを評価する。	B 推進委員に参加するだけではなく、放課後子ども教室開催日に子どもの様子などを積極的に話をするようにした。
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整えるとともに苦情処理のノートを作成し、職員間での情報共有など適切な対応がされている。	B 苦情・相談は細かく記入し、ファイリングを行っている。	B		B 苦情相談ノートで管理し、職員間で共有している。	B		B	B		B 苦情はなく、相談事については別ファイルでコピーを残し、振り返りや職員間の共有を行った。
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	B	保護者会、おたより等にて適正に取り組みがなされている。	B 保護者会・個人面談を実施し、家庭の様子と学童での様子を共有している。	B		B 保護者会や父母会の開催、マチコミメールによる情報発信等、適宜行っている。	B		B	B		B 保護者会では1学期の様子を伝え、個人面談では日々の様子だけではなく、これからの課題、頑張ってほしいことなど保護者と共有を行った。
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか 【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	B	学校や、関係機関と児童の情報を共有し、連携を図っている。児童館との連携を行いイベント等にも参加している。青少年対策地区委員会の会議に参加し学童の運営状況や活動内容等を情報提供し地域との交流を図るきっかけづくりを行っている。	B 学校とは学期に1回連絡会を設けており、子どもの様子を共有している。	A	学校とは、配慮の必要な児童を含め、担任の先生と日々の情報提供・共有を行い、学期ごとに面談も実施するなど情報共有の機会を構築で含ている。また、地域のお祭りの手伝いや参加など、地域団体との協力関係を構築することで、保育活動をの拡大・拡充を継続して行っているところを評価する。	A 学童のみならず全校児童を対象とした行事を、地域の方や小学校PTA、おやじの会と協力して行っている。	B	学校や、関係機関と児童の情報を共有し、連携を図っている。児童館や青少年対策地区委員会の会議に参加し学童の運営状況や活動内容等を情報提供し地域との交流を図るきっかけづくりを継続して行っている。	B	B	B 学校との連絡界では各担任と子どもたちの様子について情報共有を行った。配慮が必要だったったり、支援が必要な子に関しては放課後に話をするようにした。
施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B	節電・節水、紙のリサイクル、おやつの空き箱の工作利用など環境に配慮した取組みがなされている。	B 裏紙の利用や、節電を心がけている。	B		B 行事や日常活動において、利用者に呼びかけて資源の回収・再利用を行っている。	B		B	B		B 節電に関しては、子どもがいない時間は消灯して過ごすようにし、またお便りなどはアプリなどを利用してペーパーレスに努めた。
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	計画どおり実施されている。	B 年間活動通りに行われている。	B		B 行っている。	B		B	B		B 保険の問題や職員配置の問題から中止にした行事はあったが、ほとんどの行事が予定通り行われた。
		防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか		B	地震、火災等を想定した防災教育、避難訓練、不審者対応などを計画的に実施している。	B 避難訓練の実施を行っている。	B		B 実施している。	B		B	B		B 避難訓練は年間を通して予定通り行うことが出来た。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報の取り扱いに関するマニュアルを整備し、施錠付きの書庫にて保管するなど必要な措置が講じられている。	B マニュアル通りの管理を行っている。	B		B 適切である。	B		B	B		B マニュアル通りの管理を行った。
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】										B	保険の加入は適切である。	B 保険に加入し、今年度は行事に参加する保護者や地域の方から保険料を徴収し対応した。
			事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故・災害に備えて、迅速かつ適切な対処が出来るよう、マニュアル類や連絡体制を整えている。緊急連絡先や初動対応のフローも職員の見やすい場所に掲出するなどの適切な措置が取られている。	B 事故発生時は、マニュアルに沿って対応している。	B		B 緊急時に備えて、小学校とも連携できるようにしている。	B		B	B		B 大きな事故は無かったが、職員一人ひとりが対応できるように話し合いを行った。
			事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故案件、事故事例等を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時にはマニュアルなどにも折に触れ、職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発等、危機管理に関する意識が高い。	B 事故の内容、その後の対応については打ち合わせや会議等で話し合いを行っている。	B		B 事故報告に関して、他現場や法人内の他地域学童とも情報を共有し、事故防止に努めている。	B		B	B		B 団会議等で事故についての話し合いを行うだけではなく、法人全体でも情報共有を行い、事故対応を意識していけるようにした。

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。 育成日誌等の帳票類も適切に記載されており、会計処理も適切であり、問題はない。 法人内の学童保育所間で職員応援体制が築かれている。 マニュアル類も整備され、学童保育事業を安定的に遂行するよう努めている。 児童が学童保育所、放課後子ども教室の参加を自由に選択できるよう、放課後子ども教室運営団体と連携・協力し、児童の居場所の整備に努めている。 学校や児童館、地域の諸団体との関係も良好であり、今後も積極的な連携を図り、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育所運営を期待する。